

# 令和5年度 第1回市政モニターアンケート 集計結果



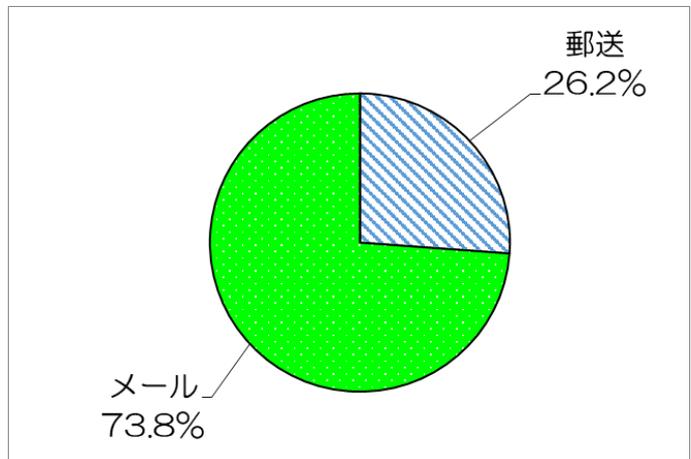
© 朝霞市ぼぼたん

## 朝霞市 市政情報課

- ※割合は、回答者数を基数として百分率（％）で表示しています。百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- また、複数回答の場合は、構成比率の合計が100%を超える場合があります。
- ※回答者数よりも回答数が多い場合があります。
- ※自由記述の表現はできる限り原文のまま記載していますが、一部表現を修正しているところがあります。

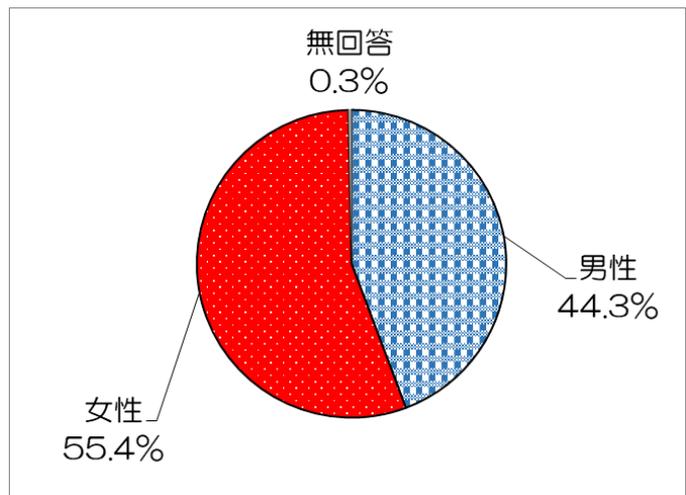
- テーマ 温室効果ガス削減に向けた地球温暖化対策について
- 実施期間 令和5年8月14日（月）から令和5年8月28日（月）まで
- 調査対象者 朝霞市市政モニター 426名
- 回答者数 298名（回答率 70.0%）
- 回答方法

回答方法	人数	割合（%）
郵送	78	26.2
メール	220	73.8



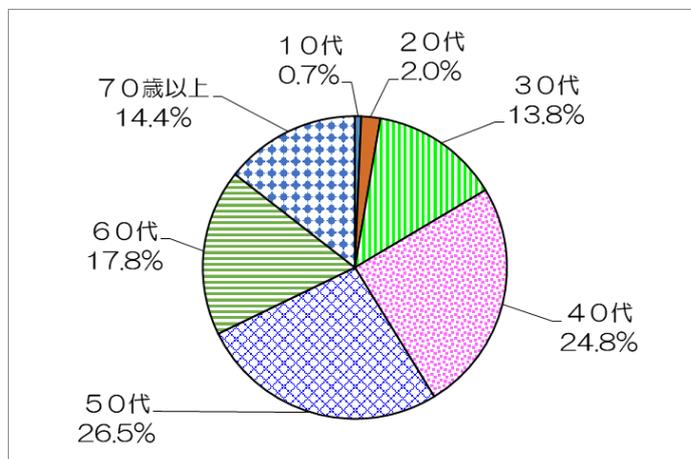
問1. あなたの性別を教えてください。

性別	人数	割合（%）
男性	132	44.3
女性	165	55.4
無回答	1	0.3



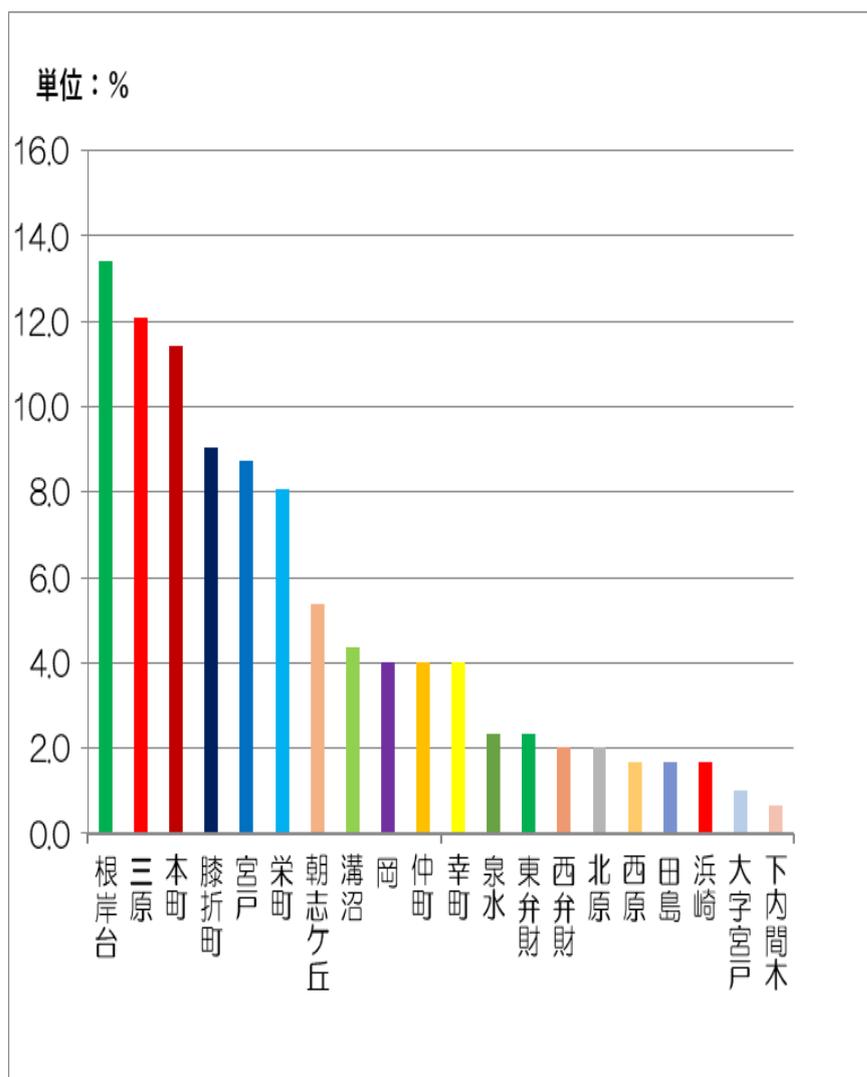
問2. あなたの年齢を教えてください。

年代	人数	割合（%）
10代	2	0.7
20代	6	2.0
30代	41	13.8
40代	74	24.8
50代	79	26.5
60代	53	17.8
70歳以上	43	14.4



問3. お住まいの地域を教えてください。

地域	人数	割合 (%)
根岸台	40	13.4
三原	36	12.1
本町	34	11.4
膝折町	27	9.1
宮戸	26	8.7
栄町	24	8.1
朝志ヶ丘	16	5.4
溝沼	13	4.4
岡	12	4.0
仲町	12	4.0
幸町	12	4.0
泉水	7	2.3
東弁財	7	2.3
西弁財	6	2.0
北原	6	2.0
西原	5	1.7
田島	5	1.7
浜崎	5	1.7
大字宮戸	3	1.0
下内間木	2	0.7
合計	298	100.0



問4 地球温暖化や気候変動の問題に関心をお持ちですか。

回答内容	人数	割合 (%)
すごく関心がある	130	43.6
少し関心がある	147	49.3
あまり関心がない	15	5.0
全く関心がない	2	0.7
よくわからない	2	0.7
無回答	2	0.7

問5 地球温暖化対策は、誰が最も主体となって進めるべき課題だと思いますか。

回答内容	人数	割合 (%)
国	211	70.8
市	8	2.7
個人	43	14.4
企業	23	7.7
その他	13	4.4

その他の御意見

- そもそも地球温暖化対策が必要と思わない。(30代 女性)
- 国以外(国には期待していない)(40代 男性)
- 世界(40代 女性)
- 結局は個人だと思うが、個人が積極的に動けるよう国や市が施策を打ち出すことが必要。(40代 女性)
- それぞれのレベルで主体(という意識)となって進めるべき。(40代 女性)
- 世界規模でなければ意味がないが、取り急ぎ国の主導で始めるべき。(50代 女性)
- それぞれの主体が意識を持って取り組むべき課題。(60代 男性)
- 特に必要はない。(60代 男性)
- 国、各自治体、市民全員参加(60代 男性)

問6 地球温暖化対策の取組を促すために、どのような広報が効果的だと思いますか。

回答内容	人数	割合 (%)
広報あさかに記事を掲載	132	44.3
ホームページ	16	5.4
SNS	79	26.5
自治会・町内会の回覧	7	2.3
街頭活動	32	10.7
その他	31	10.4
無回答	1	0.3

その他の御意見

- テレビ番組やコマーシャル(30代 女性)(40代 女性)(50代 男性)
- いない。(30代 女性)
- スーパーなどのお店(30代 女性)
- TVなどで対策について話す番組があるとよいと思う。(40代 女性)

- 子どもから啓蒙していく。保育園、幼稚園、引き続き学校にて。(40代 女性)
- 学校で教師に子どもへ教育してもらい、親に伝わるようにする。(40代 女性)
- 教育機関(40代 女性)
- 年代によって媒体が変わると思います。(40代 女性)
- 法整備(40代 男性)
- 各地の公民館やコミュニティセンターでの市民との対話の機会(40代 男性)
- すべてのメディアチャネルを使うべき。(50代 女性)
- 市民が利用する施設やスーパーマーケットなどに表示する。出来るだけ具体的に。(50代 女性)
- 営利企業が本当の意味での取組をする。(50代 女性)
- 幼稚園や学校では勿論ですが、公園やスーパーなども必要かなと思います。(50代 女性)
- 防災無線 携帯電話の緊急通知(50代 男性)
- 市で条例化する。(50代 男性)
- 勤務先や学校での訴求(50代 男性)
- メディア/職場/学校(50代 男性)
- テレビ(60代 女性)(70歳以上 男性)
- 国と答えたのでTV・SNS(60代 女性)
- たくさんの人に情報を伝えることが大事で、選択肢のどれかを選ぶことは難しいと思う。(60代 女性)
- 市民の目に見える実践として示すべき。(60代 男性)
- 広報あさか、自治会・町内会、街頭活動の3つが一体となって行うべき。(70歳以上 男性)
- 小学校教育と消費財メーカーへの意識改革要請(70歳以上 女性)
- 放送、新聞等公共的要素の強い広報(70歳以上 男性)
- 地方自治体の広報で解決できる問題ではないと思っています。(70歳以上 男性)
- まず市と市民との会話による意思の疎通をはかる。(70歳以上 男性)
- テーマを絞った、また、インセンティブをつけた定期的キャンペーン(70歳以上 男性)

問7 あなたが地球温暖化対策に取り組むためには、どのような情報が最も役立つと思いますか。

回答内容	人数	割合 (%)
取り組むための具体的な方法	161	54.0
地球温暖化の知識	39	13.1
温暖化対策に必要な費用	12	4.0
対策に取り組むことによる生活の変化	39	13.1
個々の取組によるCO2削減効果	30	10.1
その他	16	5.4
無回答	1	0.3

その他の御意見

- 取り組まないリスク（自身への悪影響）からの対応策の提示（30代 男性）
- メリットが無いと人は動かないので、環境に良いとアピールするより、〇〇円安くなる・節約できるなどをアピールしたほうがやる気になるように思う。しかし環境活動やSDGs自体に拒否反応や不信感を抱く人も多いと思うので、そもそも「そういったことの一環としてやる」ということをアピールしないほうがいいかもしれない。（30代 男性）
- コロナの時のように何をしたらどうなるのかを示すこと。ホームページや機関誌に載せておくだけではだれも見ない。ポースだけ。（40代 男性）
- 温室効果ガス排出量が多い順に並べたものを、表やグラフにしてどんな方法でもよいので発信する。（40代 女性）
- ポイント付与（40代 女性）
- 世界情勢（50代）
- かなり取り組んでいるので必要ない。（50代 男性）
- 最終的にどんな状態になるか、皆で共有する。（50代 男性）
- 取組による抑制できた気象被害の概算額を公表（50代 女性）
- 『対策に取り組むことによる生活の変化』でよいと思いますが、温暖化に取り組まないことで、自分たちの生活にどんな危機が訪れるのかを知ること。また、自分の行動でその危機を逃れることができることを知ることが大切だと思います。何事も危機感がないと真剣に取り組めない気がします。（50代 女性）
- 具体的な方法と必要な費用（何をしても費用が発生するから。）（60代 男性）
- 正しい知識の普及啓蒙活動（60代 男性）
- 温暖化による現状とリスク（60代 女性）
- 選択肢どれも大事で特に選ぶなら『取り組むための具体的な方法』（60代 女性）
- CO<sub>2</sub>の発生の90%が海なので、海洋廃出量の調整が必要。（70歳以上 男性）

問8 あなたは日常生活において省エネ行動や節電などの取組を実践していますか。

回答内容	人数	割合 (%)
実践している	127	42.6
ときどき実践している	131	44.0
あまり実践していない	25	8.4
実践していない	9	3.0
わからない (判断がつかない)	6	2.0

問9 問8で「実践している」又は「ときどき実践している」と回答された方にお伺いします。具体的にどのような取組を実践していますか。(〇は3つまで)

回答内容	人数	割合 (%)
節電や節水を日常的に心掛けて行動している	215	83.3
家電の買い換え時には省エネ型の製品を購入している	127	49.2
創エネ・省エネ設備 (太陽光発電設備、リチウムイオン蓄電池、家庭用燃料電池、HEMS (※1)、V2H (※2) 等) を設置、導入している	22	8.5
窓を二重サッシや複層ガラスにしている	46	17.8
電気自動車等の次世代自動車を導入している	10	3.9
買い物するときは地産地消を意識して購入するようにしている	49	19.0
ごみの減量やリサイクルに努めている	139	53.9
移動の際は極力、徒歩、自転車や公共交通機関 (電車、バス) を利用している	20	7.8
再エネ比率 (※3) の高い電力会社を選択している	0	0.0
その他	5	1.9

※1 HEMSとは、家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで確認したり、家電機器を自動制御したりすることで、家庭で使うエネルギー使用の節約に役立つものです。

※2 V2Hとは、電気自動車等への充電と電気自動車等から家庭等へ給電するための機器です。

※3 再エネ比率とは、発電する電力に占める太陽光・風力等、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの割合のことです。

その他の御意見

- こまめに電気を消す。(40代 男性)
- 肉食より菜食を心がけている。(40代 女性)
- 『再エネ比率の高い電力会社を選択している』以外実践している。(50代 男性)
- 打ち水や保冷剤の活用 (50代 女性)

問 10 問8で「あまり実践していない」又は「実践していない」と回答された方にお伺いします。その理由として、どのようなものが挙げられますか。(〇は3つまで)

回答内容	人数	割合 (%)
取組の仕方がわからない	17	50.0
取組が続かない	3	8.8
生活の快適性が損なわれる	9	26.5
手間がかかる	4	11.8
時間がない	5	14.7
お金がかかる	4	11.8
必要と思わない	5	14.7
その他	3	8.8

その他の御意見

- 取組を行ったことによる効果が分からない。(30代 女性)
- 電気代が高くて、エアコンなど使用しないと身体を害す。(60代 女性)
- 国や自治体から明確に方策が出されているものは実践しているが、それ以外は個人での取組は限界がある。(70歳以上 男性)

問 11 地球温暖化対策には、どのような施策が有効だと思いますか。(〇は2つまで)

回答内容	人数	割合 (%)
地球温暖化や家庭の省エネ等に関心がない人への情報提供	102	34.2
学校や職場における環境教育や研修、普及啓発の実施	162	54.4
省エネ等の設備や機器などを導入する際の支援	141	47.3
二酸化炭素の削減に対して、何らかのメリット(ポイント付与など)を与えること	89	29.9
その他	25	8.4
無回答	6	2.0

その他の御意見

- ある程度の不便さを許容させるための規制。ペットボトルの使用制限とか、公共施設や商業施設が「暑くない」程度の涼しさであるとか。今当たり前にある便利さや快適さは温暖化対策と両立しないので、少し不便になるが環境問題をマシにしていくために強制的に規制したりルールを作る。ただし科学的に効果が見込まれると大多数が考えるものに限る。レジ袋有料化のような理解しがたいものはダメ。(30代 男性)
- 罰金やポイント付与等の個人の利益に関する対応(30代 男性)
- 対策が本当に必要なのかを議論してほしい。(30代 女性)

- 国の財政問題と同様で次世代に負担を押し付け、次世代はこの時代に生まれたから仕方がないと思うだろう。愚かだとは思いますがそれが人間だとようやく気づいた。(40代 男性)
- 生活用品すべてのCO<sub>2</sub>排出量を明示(40代 女性)
- 対策をした場合としない場合の比較の周知(40代 女性)
- 温暖化対策を施した結果として、数十年後に改善されるか現状維持なのか、逆に施さないとさらに悪化するという見通しを示す。(40代 女性)
- 省エネ製品でないものに課税措置の強化をする。(40代 女性)
- 取り組む雰囲気醸成(50代 男性)
- 省エネにならない物の規制(50代 男性)
- 企業や団体等が積極的に取り組むよう促す。(50代 男性)
- 選挙の投票を、通常選挙とSDGs投票と二重にし、足した票数で決める。(50代)
- 自然エネルギー設備投資 太陽光発電等(50代 女性)
- 取り組み、本当の結果を出した営利企業を評価する広報(50代 女性)
- 必要ない。(60代 男性)
- 正しい知識の普及啓蒙活動(60代 男性)
- 海洋汚染防止、浮遊プラスチック回収、海草養殖(70歳以上 男性)
- 温暖化は世界規模での取組が必要であり、個人や自治体に取り組むことによる効果は薄い。(70歳以上 男性)
- 家庭でできる地球温暖化防止の実行計画の推進(70歳以上 男性)
- TVや雑誌・新聞のコマーシャルと放送内容の規制(70歳以上 女性)

朝霞市では、市域における温室効果ガスの排出量の削減を促進していくため、令和4年3月に第3次朝霞市環境基本計画に内包する形で、市全体の地球温暖化対策計画である「朝霞市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定しました。また、市民向けには、創エネ・省エネ設備設置費に対して一部補助を行っているところです。市の取組について、御意見をお聞かせください。

問 12 朝霞市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を知っていますか。

回答内容	人数	割合 (%)
知っており、内容を理解している	25	8.4
知っているが、内容はよく分からない	56	18.8
知らない	216	72.5
無回答	1	0.3

問 13 問12で「知っており、内容を理解している」又は「知っているが、内容はよく分からない」と回答された方にお伺いします。何で知りましたか。（複数回答可）

回答内容	人数	割合 (%)
市ホームページ	17	21.0
広報あさか	67	82.7
公共施設での閲覧	2	2.5
その他	3	3.7
無回答	1	1.2

その他の御意見

- 家族から聞いた。（40代 男性）
- 友人との会話から。（60代 女性）
- 家電量販店で省エネエアコンを購入するときに、詳しく量販店の方に聞きました。（60代 女性）

問 14 朝霞市では、太陽光発電システム、家庭用燃料電池（エネファーム）、定置式リチウムイオン蓄電池、雨水貯留槽、HEMS、V2H、省エネエアコンに対して補助を行っていますが、知っていますか。

回答内容	人数	割合 (%)
知っている	69	23.2
知らない	228	76.5
無回答	1	0.3

問 15 今後、補助対象として希望する設備は、どのような設備ですか。(〇は2つまで)

回答内容	人数	割合 (%)
住宅の断熱改修	160	53.7
住宅の遮熱塗装	123	41.3
電気自動車	119	39.9
電気バイク	30	10.1
ゼロエネルギー住宅 (ZEH)	27	9.1
その他	31	10.4
無回答	5	1.7

その他の御意見

- 住宅改修費を集合住宅にも適用できるようにしたり、大家さんが積極的にそのような改修を行うように促してほしい。(30代 男性)
- 電動自転車 (30代 女性) (40代 女性)
- 生ゴミ処理機補助 (ルーフェン等) (30代 女性) (40代 女性) (70歳以上 男性)
- またエアコンの助成をしてほしい。(40代 女性)
- V2H (40代 女性)
- エアコンに限らず、省エネ家電に広げる。(40代 女性)
- 個人への補助というよりは、地域住民が共有できる設備をお店などに設置して補助するのが良いと思う。(40代 女性)
- 自転車 (40代 女性) (50代 女性)
- 自動車やバイクを乗れるほど裕福ではない。賃貸なので遮断用の道具を用いて既に断熱している。(40代 男性)
- マンション等の集合住宅は EV 化 (太陽光や EV 自動車・バイク) の導入が難しいため、導入の補助や情報提供が必要。(40代 男性)
- 補助が適切とは言えない。(40代 男性)
- 省エネ家電購入の補助 (50代 女性) (50代 男性)
- 設備の選択を広げるべき。(50代 男性)
- 電気自動車充電インフラ (50代 男性)
- 中古でも補助を出してほしい。(50代 男性)
- 太陽光導入の補助 (60代 男性)
- 公共施設の充実 (60代 男性)
- マンション住まいの場合はどう対応したらいいのか? (70歳以上 男性)
- バラまきの補助では効果が出ないと思います。重点項目に絞りもっと補助を増やすなどの政策が必要。毎年項目を変えてもいいのではないか。(70歳以上 男性)
- エコキュート (70歳以上 男性)

問 16 地球温暖化対策として、市に期待している取組はありますか。(〇は3つまで)

回答内容	人数	割合 (%)
地球温暖化に関する説明会や創エネ・省エネ設備の展示会などの開催	42	14.1
地球温暖化に関する情報提供の充実(広報あさか、SNS、ホームページ等)	147	49.3
環境教育や環境学習の充実	119	39.9
ごみの減量、リサイクルの推進	137	46.0
クールビズやウォームビズの推進	31	10.4
個人住宅へ補助している省エネ・創エネ設備設置費の補助対象設備の拡充	108	36.2
環境保全のために活動している市民団体等への支援	35	11.7
市役所や公共施設の地球温暖化対策(例:庁舎の省エネルギー化、太陽光発電の導入等)の推進	87	29.2
何も期待していない	12	4.0
その他	14	4.7
無回答	1	0.3

その他の御意見

- 教育や情報提供は大事だと思うが効果があるのかわからない。リサイクルよりもリユース、リデュースの推進が必要。「温暖化対策として」というのが枷になっている気もするので、対策になるようなことを「当たり前」にしていくことを考えたほうが良いと思う。多様性とか個人を尊重するとかが履き違えられている昨今では難しいかもしれませんが。(30代 男性)
- 市の環境課と市民の対話の機会(40代 男性)
- 老朽化した住宅設備等への課税措置の強化(40代 女性)
- 個人個人に期待するのではなく、市や事業所がやっていることを示して、個人にも呼びかけてほしい。(40代 女性)
- 放っておくと最終どうなるか、色々な場での情報共有(50代 男性)
- 集合住宅に対する省エネ設備への補助(50代 男性)
- マンションが増えているので、個人住宅ではなく、マンションの屋上、それ以外にも工場、学校など施設に太陽光発電(大規模修繕の時にスライド移動できるように屋上の40%程度にするとか)などを市が設置し運営するなどを行うなどを検討してほしい。(50代 男性)
- 期待はしていないが、小中の教育に朝霞市はこう取り組んでいるということをお話して頂きたい。(60代 女性)
- ごみの「CO 焼却で CO から SAS への再生」へ切り換える準備をする。排気 CO<sub>2</sub> の再投入で燃焼コントロール(70歳以上 男性)
- 家庭でできる地球温暖化防止の実行計画の作成・推進(70歳以上 男性)

問 17 地球温暖化対策について、御意見がありましたら御記入ください。

- 環境対策に意識のある人を増やすことよりも、現状で意識のある人が対策行動に移せるような補助ができるような施策が有効かと考える。(10代 男性)
- 個人的には地球温暖化対策は個人単位では、付随的な価値が強いと思います(エコカー減税など)。そうだと考えると、個人単位での意識強化も重要ですが、従来よりエコな装置の導入など設備的な投資の方が個人法人問わず環境的にも経済的にも影響力が大きいと思います。もちろん、教育という側面では地球温暖化対策は続けていくべきことだとも思います。(20代 男性)
- 太陽光発電の補助金の拡充、EV 向けの充電設備の拡充策、揮発油税の減少対策など(30代 男性)
- NPO が儲からなければいい。(30代 男性)
- 実生活では後回しになりがち。ノルマがないとできないのと、自分だけ実施(ツライこと)して周りはやっていないからいいかという考えに陥りそう。楽しく(ポイント付与?)、苦でないことから地球温暖化対策に広がると取り組みやすいかも(具体案は無し)。個人、市、国、他国へと広がると良いサイクルは回ると思われる(CO<sub>2</sub>削減ペナルティは無いと認識。)(30代 男性)
- 積極的に取り組んでいる企業や個人への支援は引き続き行い、そうでない(非積極的・温暖化を推進するような)企業等へは罰則を設ける必要があるかと考える。また、煙草のような人間にも環境にも害しかない、現代にそぐわない物は可能な限り速やかに販売停止にするべきかと強く考える。環境汚染や余計な廃棄物排出を止めることが、個人で出来る温暖化対策の最たる例だからである。(30代 男性)
- 「地球温暖化のために」と言われるとやる気が削がれる、やっている感を出しているだけ、不信感がある、という人が徐々に増えているような気がします(特に根拠はありません)。対策を中心となって行うべきは国と地方自治体であると考えますが、これまで様々な取組や活動をしたり、活動している団体への支援などを行政は行って来たかもしれませんが、それらの効果が非常に弱く、ともすれば不信感を抱かせる結果となったかもしれない、ということを理解し、分析し、行動するべきだと考えます。私は30代半ばですが、小学生の頃から環境問題が〜地球温暖化が〜化石燃料が〜と色々大変だと教えられ、国などは「今こそ環境問題解決のために一人ひとりの意識を変えていかなくては!」と20年以上も言っていますが、「変わらなくてはいけない状況が続いている」ということは「変えられていない」ということです。国際的に問題になっているからやっている感が出る”何か”をしているだけで本気でどうにかしようとは考えていない、もしくは考えが及ばない(課題解決のための能力が無い)行政に諦めかけているのだと思います。地球温暖化うんぬんとは言わず、徐々にでも当たり前を変えていく草の根活動のほうが効果があるのではないかと思います。そのためには規制やルールが多少なりとも必要です。ルールを作る政治家がどうしようもないケースも多々あるかと思いますが、どうにか実りある指針や行動がなされることを願っています。(30代 男性)
- 市の温暖化対策について、ほぼ知らなかった。もっと助成を受けられることを周知出来る対策をしてほしい。省エネエアコンの助成について補助を利用しようとした際、基準に当てはまらず利用できなかった。国だけでなく、市で助成金を増やして、各家庭に該当するような温暖化対策を促してほしい。(30代 女性)

- 異常気象・気温など近年はとくに身近な問題と感じられるようになってきました。日頃から個人単位で取り組むことのできる節電・節水は昨今の物価高もあり家計のためにも多くの家庭で大なり小なり行われているのではないかと思います。しかし、地産地消やリサイクルといったところまではやりきれていない人もいるのではないのでしょうか。地産品が安ければもちろん購入できますが、高ければ手を出すことは叶いません。そういうところに補助金やポイントがあればより身近なものになると思います。また、リサイクルポイントがより身近なものになるための仕組みがあればいいと思います。例えばイトーヨーカドーさんがポイント制度を導入しており、大量のペットボトルを持ち込んでいる方を見かけます。しかし近所住まい、あるいは車でもなければなかなか持ち込めません。牛乳パックや古紙、ペットボトルなど時間がない人たちも協力できる(協力するメリットがある)仕組みがあればより進むと思います。ではメリットとはどんなものがよいかと考えると、貢献度の高い地域の充実というのはいかがでしょうか。「環境保全の市民団体」と一口に言っても、活動内容や活動場所はさまざまです。そして、活動の充実さも地域によってバラバラです。例えば自分の住んでいる地域の花や緑と比べて、市役所周りは花壇も樹木も綺麗に整えられています。自分たちの地域がよりよくなれば、住環境の充実で住んでいても心地よく、また不動産の資産価値も自ずと上がります。ごみを収集する方の負担は増えてしまいますが、収集の際に計量を行うか、地域ごとに収集して収集先で計量し、地域のリサイクル貢献度を記録します。そしてその結果は毎月広報あさかやSNSで発表します。トータル一年ないし半年の結果に基づき、次の半年の地域発展のための予算なり追加の補助金を検討します。(ただし、市の回収ではなく企業の回収を利用する方をいかにしてカウントするかは難しい課題かもしれません。)上記は一例ですが、みんなで取り組むことにメリットとやりがいのある仕組みに期待します。(30代 女性)
- わからないことが多いので、市が主導してくれると助かります。助成制度が手厚いと、市民としても問題に取り組む動機づけとなりやすいです。(30代 女性)
- 地球温暖化が本当にCO<sub>2</sub>の排出量に伴うものなのかが不明なのに機器を導入したりすることに、何か政治的な背景を勘繰ってしまう。地球温暖化対策を講じることで利益が出る企業や個人の方がいるのでは？電気自動車の電気はどうやって作っているのか？結局燃料を燃やしてCO<sub>2</sub>を排出した結果の電気で車を走らせる意味は？ガソリン車の方が圧倒的に効率がいいのに、と感じています。断熱材など、省エネになるものは理にかなっていると思うのでどんどんやったらいいと思う。クールビズなどもそう。(30代 女性)
- 地球温暖化対策は必ずしなければならないことだと思えます。生活の一部として、当たり前前に地球温暖化対策をしていけるような世の中になったらいいなと思えます。身近なところでは、牛乳パックやペットボトルのフタのリサイクルを行っています。瓶、缶、トレイなどもスーパーの回収に出すようにしています。ほんの小さなことかもしれませんが、朝霞市に住んでいるみんなが実施すると大きな力になると思います。小さなことをコツコツみんなで進められる朝霞市になっていけたらいいなと期待しています。(30代 女性)
- 家の高气密・高断熱化に対しても補助があるといいです。朝霞市内で新築した自宅は樹脂トリプルサッシ、内外断熱仕様にしました。この地域では少し過剰な断熱仕様かもしれませんが、冷暖房の効きの良さを実感しています。また結露もしづらいので住宅が長持ちするという利点もあります。太陽光といった設備への補助も効果的だとは思いますが、将来の廃棄や出力制御？といった問題も考慮しながら推進していくべきだと思います。(30代 女性)

- 今までもテレビや学校等で地球温暖化についてはずっと言われ続けているのですから、意識している人は既に出来る範囲で色々対策をしてきていると思います。対策をしている人に更に対策をしろと言うのは厳しい上に効果も微々たるものかと思しますので、取り組んでいない方へのアプローチをしなくてはいけないのかもしれませんが難しいですね。言葉で言われても響かないから取り組んでいないのだとは思っているので、一ヶ月ごととかの短期間で実際に現状どれくらい効果があったのかを皆が見られる様にしたり、取り組む事で本人にわかりやすくメリットがある形を作って、それなら対策しても良いかなと個々に思わせる取っ掛かりを増やしていくしかないのかなと考えます。(30代 女性)
- 国や地方自治体のインフラ整備等の充実が不可欠。電気自動車の充電施設の建設やダイチャリの無償化。自転車置き場の無償化(駅周辺等)等様々な対応が必要。(40代 男性)
- 彩夏祭など人が多く集まるイベントを利用して啓蒙活動や省エネ設備の展示、鳴子の舞台などの照明を再生可能エネルギーにして実際の対策を直接体験してもらう。(40代 男性)
- 他人事にならないようにするための教育が大事だと思う。(40代 男性)
- 光熱費の高騰のため既に個人で対応できる方法は実践している。個人の権利の枠外ではどうにもならない。(40代 男性)
- 個々の意識の向上は大切かもしれませんが、目に見える効果はあまり期待できるものではないと思いますので、国や自治体と企業が率先して、生活の利便性を損なわないよう、工夫して取り組んでいただければと思います。(40代 男性)
- 普段から無理のない範囲で取り組んでいます、十分に取り組んでいるか…?というところまでではないように感じています。『これだけの事をやれば、どれくらい効果がありますよ!』という内容の共有を市民に向けて発信していただけると、具体的な貢献度が分かって良いのかなと思います。お忙しいなかとは存じますが、ご検討いただけますと幸いです。(40代 男性)
- 身近にできることをどんどん発信してほしい。(40代 男性)
- これだけ世界中で温暖化の影響が深刻化している中で、本気で取り組むことは政治、市政の重要な責任だと思います。重要度を上げて、積極的な取組を行なっていただきたい。また単独の取組ではなく、例えば埼玉県内市町村の横のつながりで横断的に取組を実行するなど、ボトムアップで実施されたいかがでしょうか。全国の市区町村の取り組みの規範となるようなトピックスが朝霞発で出てきたら、緑豊かな街としてのアピールにもつながり、素敵だなと思います。(40代 男性)
- 自然の多い朝霞市なので自然を生かした環境対策に取り組んで欲しい。(40代 男性)
- 人類存亡の危機とまでは言わないが、このままでは、環境が激変し、後戻りできない回復不可能な状況に至り、自分の生命のみならず、愛する人にまで大きな影響が及ぶ可能性があるということを、もっと啓発していく必要があるのではないかと思う(語弊があるかもしれないが、「危機感を煽る」政策も必要かと思う。)(40代 男性)
- 喫緊の課題であるが、市民の自分事化が難しい。一方向での情報提供も必要だが、行政任せにせず、市民と市役所が交流し一緒に市民が考えて行動(プラン)する必要性を感じる。(40代 男性)

- 個人の理解と意識変化なく補助は無意味。ごく一部の利権者へ公金渡しているだけ。(40代 男性)
- 個人がそれぞれ意識をして行動するようにしていけば、未来はかわっていくと思います。(40代 女性)
- 埼玉県ホームページの「地球温暖化対策関連施策」の実施状況の資料を、駅、スーパーなど人が見るところに貼ってほしい。(40代 女性)
- 個人の小さな努力が大切なのは理解しているつもりです。日々の節電、節水をしたことで地球温暖化はどのくらい防げるのか、目で見てもわかりにくいので達成感がありません。(40代 女性)
- 朝霞市に引っ越してきて6年が経ちました。この6年で畑がなくなり、住宅が増えたように感じています。土がなくなり、アスファルトが増えたことで、地面温度も上がり、日中夜ともに暑くなったように感じます。私はわくわく号バス停の近くに住んでいますが、バスの本数が少ない時間帯には、どうしても車を使います。バス便の増設やリードタウンからのタクシーが使えるようになるといいと感じています。(40代 女性)
- 講演会やミニコンサートをやってほしいです。(40代 女性)
- 正直、地球温暖化対策と言われても、規模が大きすぎて、一人でやったところで何も効果はないのではないかと。そしてそもそも何をやったらいいかも全くわかりません。そのような人に向けて、何か情報があれば、私は見ると思います。(40代 女性)
- 今までの日本家屋は風通しの良さを重視されてきましたが、近年は気密性を保った住宅の方が夏は涼しく、冬は暖かいと伺いました。とはいえ、物価高もあり、二重サッシにするなど、住宅リフォームをするには財政的に厳しい状況です。少しでも補助があると助かります。(40代 女性)
- 夏が暑くなり続けることに懸念を感じています。アーケードなどで日陰を増やすことや区画整理で道を広げて風通しを良くすることを考えてほしい。おとといは曇りだったので散歩をしましたが、和光市は風通しがよく汗をかかなかつたが、朝霞になったら狭い道ばかりで風がなくとても暑かった。朝霞市を歩いたときのほうが時間が遅くて涼しくなるはずなのに。これからのことも大切ですが、もうなってしまっていることにも対策をされることに期待します。(40代 女性)
- 家庭用生ゴミ処理機導入費用の補助と、生ごみ削減への貢献に対する還元や、SDGsに対応した個人への取組に対する還元などがあると、意欲的に取り組めると思います。例えば、家庭生ごみ処理については、地元JAとコラボレーションするなどし、肥料として活用し、貢献した家庭に対し地元産の野菜などを還元していく等、わかりやすいサイクルがあることで個人の意識的な取組に繋げていけないのでしょうか。(40代 女性)
- 今年省エネエアコンを買い換えたが、この補助金が議案になっていることを知らずに、施行日の2~3日前に購入して、補助金対象外になった。世帯の区別なくいい制度だが、議案になったところで周知してほしい。(40代 女性)
- 関心がない人にアプローチすることが一番難しいと思われるので、学校での環境教育や、市役所や駅前など人目に触れやすい場所での情報発信が効率的だと思います。小さなことから行動変化を促していくことが大事ではないでしょうか。(40代 女性)

- なるべく車を使わず、公共交通機関でと言ってもなかなか難しい。電動自転車があれば1、2 駅先くらいまでなら軽く行けるので便利。まだまだ高価なので、補助があるとありがたいと思う。(40代 女性)
- 公民館などを利用して、学ぶ場所や、イベントをして、大人から子どもまで自分が始められることを知る機会があるといい。(40代 女性)
- 補助金に頼らないようなエコシステム構築が必要だと思う。問 16 についての補足：→ 市町村レベルでお金をかけるなら、災害対策や安全対策、道路整備等に使っていただきたいと思っています。(40代 女性)
- 省エネタイプのアコン購入に対する補助金制度を始めたようですが、一般家庭用に購入するサイズでは対象になる機種がほとんどなく、使えそうもないのでガッカリしました。(40代 女性)
- 空き箱や容器を学校、学童、保育園などで工作に活用してゴミの有効活用やリサイクルの重要性を小さなうちから学べるとよいと思います。(40代 女性)
- 地球温暖化の問題は、かなり前から危惧されてはいるが、実際自分たちが何をすれば良いのかわからないのが現状。携帯電話やパソコン、電子機器のおかげで暮らしは便利になったと思うが、何でも簡単に買い替えて、物を大切に作る気持ちが薄れてしまっている気がする。これからの子どもたちの未来を考える上でも、地球温暖化対策の大切さや、なぜ大切なのかを、教育の現場でも取り上げて欲しい。(40代 女性)
- 子ども達の未来が守られるように今できることをもっと知って、生活に取り入れ、地球温暖化を少しでも抑えられたらと思っています。(40代 女性)
- このアンケートが、いつもはなんとなく意識していたことも、しっかり考えていこうと思う機会となりました。国や市が何かをするというスタンスではなく、自分ごとでできるような、取り組みや情報提供があると、良いと思いました。(40代 女性)
- 地球温暖化になるとどういうデメリットがあり、自分たちの生活にどんな影響を及ぼしていくのかという事が自分も含めて、ちゃんと理解できていない人が多いのでは無いかと思います。そのため、地球温暖化について基本的な勉強や情報を得ていきたいと思うことと、どんな小さな事でもみんなが心掛けていけば、地球温暖化を防止することが出来るのではないと思うので、誰でも出来る事などを情報発信していくことも大事だと思います。(40代 女性)
- 地球温暖化対策は個々でもできる事はあると思うが、国規模、自治体規模に比べたら微々たるものだと思う。まずは国規模、世界規模で何をするか決めて、それを税金にて実行してはどうか。(40代 女性)
- あまり身構えずにできる対策を実践したい。省エネクーラー補助を利用させてもらったが、省エネタイプの家電を無理のない価格で購入できたことはありがたかった。補助がなければ省エネタイプを検討しなかった。電気代トータルで考えると安くなることも広報で伝えると省エネタイプの購入に繋がると思う。(40代 女性)
- 思い切った施策を実行するには、自治体で実施するには限界(予算や制度)があるので、国を巻き込んで施策を実行できるよう国に意見具申をしてほしい。(40代 女性)
- 学校教育や企業、職場内でより環境に対する知識、教養を浸透させ今以上に意識させる体制が大切だと思います。各自の対策が、当たり前前の日常生活にならなければいけないと思うので、子どもの内から習慣になればより良いと思います。(40代 女性)

- 朝霞市が個人住宅と集合住宅のどちらが多いか割合が分からないのですが、おそらく交通アクセスの良さから、近年は集合住宅が増加傾向にあるように思うので、集合住宅に住んでいてもできる CO<sub>2</sub> 排出削減アイデアを SNS で発信してほしいです。また、ごみの減量化は、廃棄物削減と CO<sub>2</sub> 排出削減と 1 つの取組で複数の社会課題を解決できるので、複数解決につながる取り組みから積極的に推進してほしいです。まずは生ごみのコンポストのため、回収出来るところを市内の至るところに設置して堆肥化のために財政を配分してほしいです。アメリカや北欧は、街の至る所に回収ボックスがあり、堆肥化したり、再生エネルギーで公共交通を運行したり先進的な取組をしています。むさしのフロント的な地位を確立するためにも、自然豊かな環境と共に自然循環させる仕組みづくりと市民に習慣を根付かせるための取組を市政に期待したいです。我が家でコンポストを行なっていますが、庭も家庭菜園も持てない集合住宅のため、堆肥の使い道が限られ、市外の約 1 時間かかる実家に持ち運んでいるので、かえって CO<sub>2</sub> を発生させてしまい、廃棄物削減につながっても、CO<sub>2</sub> 排出削減には貢献出来ないジレンマにコンポストの意義を感じにくくなっているため、どうか生ごみ回収、堆肥化に取り組んで頂きたいです。市民に啓発するにあたっては、ゴミとして廃棄後、自分の捨てたものがどのようになっていくかを見える化し、自分ごと化し考えてもらうのも 1 つの手段だと思います。ごみ処理過程を市民に見学、見せる機会もあった方が市民が身近に出来る廃棄物削減、CO<sub>2</sub> 削減策の 1 つにつながると思います。むさしのフロントあさかに住み続けたいからこそ、今後の取組に期待します！！（40代 女性）
- 各個人への「お願い」ではなく強く指示をしていくべきだと思う。（40代 女性）
- 温暖化対策については個人が自分事として考える必要があると思います。誰かが何とかしてくれる、という考えにならないよう、子どもたちが日頃から温暖化について考えて行動できるような教育や施設を、学校や公共施設に取り入れるべきと考えます。（40代 女性）
- 蓄電池など、興味があっても仕組みや価格帯、補助金など、知識が伴わずに購入に至っていません。積極的に調べるにしても、何かきっかけがないと難しいと思いますので、駅前や公園内などでイベントなどを行っての周知も有効かと思います。（40代 女性）
- 朝霞はマンションが多い為、真夜中であっても廊下に多過ぎる量の電気がたくさんついていたりします(その割に道は暗い場所が多い。)。どんどん新しいマンションも出来ているので、マンション単位で何か協力出来る事があれば良いのではないかと思います。お年寄りで家の設備を増設したり、省エネ等を意識してもらうのはなかなか難しいと思うので、これからの世代である小学生等で地球温暖化対策が出来る体験や勉強をしてもらう方が良いと思います。小さな子どもは学校で習ってきた事を親に話したり教えてくれたりするので『こうやると節約になるんだよ』等伝えてもらえると、親世代も生活に取り入れやすいです。（40代 女性）
- 温室効果ガス削減について皆さんが興味を持てば、少しずつ過ごしやすい環境になっていくと思います。ただし、地球全体で考えると、我々だけが省エネ対策を頑張ったところで到底及びません。そのことを踏まえて、地球温暖化の仕組みや原因、ひとりひとりが出来そうな対策法や省エネの方法などを、もう少しわかりやすく広報してみたら如何でしょうか。創エネ省エネ設備設置の補助等があることをもっとお知らせした方が良いのかなと思います。（50代 男性）
- 市の広報無線や公共交通機関の利用など車を減らす。（50代 男性）

- 地球温暖化について興味はありますが、何をやっていいかわかりません。子どもの時から教育プログラム等の学ぶ機会があれば、大人になってからも自然と身につく対策だと思います。私の子どもの時はそういった機会がなかったため、認識は低いです。(50代 男性)
- 「個人住宅」は補助の対象だと思うが、集合住宅(マンション等)の場合は補助の対象にならないと思います。集合住宅に住んでいる人も多いと思うので、集合住宅に住んでいる人も利用しやすい補助の仕組みを取り入れてもらうといいと思う。例えば節電や節水につながる機器への買い替え補助など。(50代 男性)
- ちょっと、意外なアンケートでした。といいますのは、温暖化対策は、国が率先して取り組むべきものと思っていたからです。「市区町村レベルにもこのような課題が突きつけられているのだなあ」と、改めて、ことの深刻さを感じさせられました。申し訳ないのですが、地球温暖化については、知識が豊富ではなく、的外れなことを書いてしまうかもしれません。いま、私が危惧しているのは、太陽光発電パネルの廃棄についてです。太陽光発電をすすめるのは良いのですが、そろそろ、過去のもの廃棄する時期が来ていると聞きます。そして、その廃棄方法が確立されていないようですね。次に、なんでも電気電気という感じで、二酸化炭素削減に取り組んでいくような印象が、このアンケートからは感じられますが、電気を発電するのにも、二酸化炭素は排出される可能性が現時点では高いのではないのでしょうか。風力発電所については、景観の問題が…… 先日、秋田から新潟まで、羽越本線に乗って車窓を見ていると、秋田県内の海上には多くの風力発電のための風車が回転しており、ちょっと、異様でした。地球温暖化のためには、景観程度、我慢すべきなのではないでしょうか。太陽光発電については、原発一基分の発電をまかなうためには、山手線一周分の内部の面積と同じだけのソーラーパネルが必要とのこと。これも、実現可能なのでしょうか(原発を推進するという意味ではなく)。原発に頼ることは、絶対に避けてほしいというのが、私の願いですが、だからといって、解決策があるのかといえ、知識が豊富ではないので、そここのところを、朝霞市には、啓発していただきたいです。一つ小さなことですが、朝霞市の封筒にも書かれていたことがあるのですが、「この封筒のインクは……」というのがありますよね。あれ、書くだけ、余計なインクを使うことになるので、やめた方がいいと思います。もう、そんなことはあたりまえなので、(50代 男性)
- 根本的には国策が重要になり、自治体レベルでは一定の削減策を補助する形で良いかと思っています。生活へ密接に関わるので、負担なく実施できる施策でないと思えません。(50代 男性)
- 子どもが学校の授業などでよく勉強していて、大人も影響を受けておりますし、次の世代が意識を高く持つことにより対策が強化されていくことを願っております。自分自身でも出来る限りの努力をし、負の遺産を残さないようと思っています。(50代 男性)
- もう手遅れだと早くみんなに教えてほしい。早急に取り組ませるべき。(50代 男性)
- 地球温暖化による市や市民が受ける問題を住民目線でシュミレーションしないと話が大き過ぎてピンと来ないような気がします。(50代 男性)
- 地球温暖化対策と聞くと地球規模の話で個人にはどうにもできない印象を持っています。「あなたの心地よい生活に向けて」とか「住み心地のよい朝霞市づくり」など、身近な環境対策、自分が快適に生活するために行う温暖化対策として発信されたらよいかと思っています。「朝霞市の平均気温を1℃下げるぞ宣言」みたいな市民に分かりやすい動機付けで、朝霞市が地球温暖化対策の模範都市になることを期待しています。(50代 男性)

- 水害、台風、夏の異常気象が多くなり、対策は急務だと思われる。補助ではなく、市が積極的に学校などの屋上で太陽光発電を行う等の対応をすることがいいと思います（補助の予算が残れば考えればと思いますが・・・）。（50代 男性）
- 自動車による温暖化の影響が高いと思います。街中でたまに「真っ黒の排気ガス」「爆音のようなエンジン音」のトラックをいまだに目撃します。そのような状態で使用している業者にはペナルティが必要だと思います。しばらく道路上辺りが煙でいっぱいの状況となったりします。確かに昭和の時代はよく見かけましたが、今は令和です。温暖化抑制に向けて、業者 1 社 1 社の積み重ねは非常に効果が高いと思います。（50代 男性）
- 1.子どもにもわかる情報提供 2.学校や企業への出張講座 3.農地の保全 4.商業、市街化、調整各区域での温室効果ガス排出量の数値設定 5.緑の保全区域内でのダンプ、トラック、重機等を使用した操業禁止（50代 男性）
- 意識せず放っておくと、最終どうなるか。1. 新鮮な空気が普通に吸えなくなる。2. 水道水が当たり前じゃなくなる。3. 自分の土地が無くなる。自分の生活が（何十年後、何百年後でも良い）脅かされる可能性があることを身近な場所で伝える。生活する場所、学校、職場、買い物する場所で一定期間伝える。期間中、得するキャンペーンを身近な場所で、市が中心にやってみてはどうか？朝霞エコポイントなどを作り、その期間は倍付与する、買い物に使える、そんなキャンペーンを定期的実施してみると、意識の定着に繋がるのでは？恐らく、自分も含めて、（普段の生活で余裕が無い部分もありますが）他人ごと、意識が遠くなる時があります。当たり前に出来る、意識を生活の一部に組み込めれば、自然に変わっていける、大きな動きになると思います。（50代 男性）
- 小学生くらいのいろいろな学びを吸収するときに、正しい情報で伝え、取組などを知らしめることで、生活に興味を持ち、自分のため、家族のため、国、地球のためにできる小さなことから当たり前のようによく実行できるようにさせてあげたいです。（50代 女性）
- ごみの減量、また回収方法（有料化）等の対策必要。高齢化も進んでおり、現状の回収方法への疑問あり。（50代 女性）
- 朝霞市・市民が毎日少しずつ出来ることから始めていくべきだと痛感しています。「待ったなし」だなあと感じています。市内のいたる所にリサイクル用の設置箱を置いて、リサイクルは当たり前の生活の一部に。太陽光利用で公共施設に対応したり、ごみで農家の飼料の開発で循環型にしたり、忘れ物やごみ等で再利用の研究・開発に予算を使ったり、一連の流れを確立してほしいです。隣県と合同での対策もあっていいと思います。省エネやリサイクルを日常として、もっと市民に落とし込んでいく活動をスピードをあげて、行ってほしいし、協力もしたい。話し合いや説明会にも積極的に参加したい。次世代の人にもっと住みやすい市にして、バトンを渡したいと思います。毎日暑くて大変です。小さなことから、今日からスタートしたいです。「自然にやさしい朝霞市」「人に優しい朝霞市」をつくっていきたいです。（50代 女性）
- 世界全体で取り組むべきこと。（50代 女性）
- 意見ではなく感想となってしまいますが、地球温暖化対策は、対策の手段は人によっては簡単にできたり難易度が高くなったりするのかな、と思いました。個々の取組としては、楽しめたり無意識にできればいいなと思いました。（50代 女性）

- 様々な補助制度があることを、今回のアンケートで初めて知りました。これらの製品は、高額なもので、補助していただいても、まだまだ手の届くようなものではないのでは？とあってしまいます。導入するまでの総額、メインメンテナンスの費用、製品の寿命、導入後の効果等をシミュレーションでわかりやすく提示してあれば、導入できそうなのか、できそうでないのか考えることができます。(50代 女性)
- 具体的なメリット(プレゼント的なもの)または、具体的に罰則がないと、人は動かないと思うので、そういったものを設定した方が良いと思う。(50代 女性)
- この問題は避けられない。もっと国際的に議論して、一人一人が考えるべき問題だと思います。プラスチック使用の制限、森をもっと大切にすることなど。(50代 女性)
- 朝霞市の日々の地球温暖化への対策に感謝申し上げます。私の地域の若者を対象にしている(若者が多く住んでいる)アパートの周りは、ペットボトルのごみであふれています。ひとりひとりが自分にできることは何か考え、実行できるとよいと思います。(50代 女性)
- そもそも補助をしないと温暖化対策というものはできないものなのではないでしょうか。補助ができるから買い替え等を検討するということになるのでしょうかね。温室効果ガスはどこから排出されるガスなのかとかエアコンつけなければ省エネになるの？電気をつけなければ良いの？など温暖化対策に対する根本的なものが、まず知識不足です。知識の普及がまず先ではないかと。そんな誰もが参加できる勉強会があったらいいなと思いました。(50代 女性)
- この夏の猛暑には誰もがエアコンのフル回転かと思います。外は室外機からの熱で、更に気温が高くなる悪循環。マンションでは難しいですが、暑さ除けのグッズなど(よしず、グリーンカーテンなど)補助してもらえたらよいのでは…。また、公共交通機関のわくわくバスは引き続きお願いしたいと思います。市職員、教員など、自動車通勤が多すぎる気がします。(50代 女性)
- 最終的には個々の力が一番大きいかと思うので、温暖化対策に感心を持って少しでも行動していく人を増やしていけるといいなと思います。(50代 女性)
- 結局は個人個人の意識の問題だと思う。(50代 女性)
- もっと早く意見を拾い上げて欲しかった。市民の立場として、使い捨ての容器が、多すぎて、心苦しい。国指導で企業に働きかけてほしい。生活形態を見直すべきではないか。また、太陽光発電は良いと思うが、パネルの故障、使用期限でゴミになる事を考えると如何なものかと思う。もう一つ、休耕地の急速な宅地化が疑問だ。折角の大切な農地。行政、市民で支援しながら作物を作る事はできないだろうか。地産地消出来ませんか？(50代 女性)
- 災害レベルで暑いので冷房は仕方ないが、もっと公共で涼める場所を提供したらどうでしょう？既存の公共施設内にベンチを増設するだけです。それだけでも個々の電気代や全体的なエネルギー削減になります。(50代 女性)
- あまりにも知らなさすぎて、恥ずかしいです。(50代 女性)
- このアンケートで朝霞市が地球温暖化に対して対策されている事を知り、素晴らしいと思いました。私たちも出来ることから協力していきたいと思います。(50代 女性)
- 危機感はあるが、具体的に何をすれば良いかわからない。家庭でできる具体的な策を提案してもらって協力をしたいです。(50代 女性)

- 使用不可欠な電気利用は致し方ないと思いますが、3. 11（東日本大震災）で経験した通り最低限が確保出来れば良いはず(例 スーパーの照明、駅構内の電気など)。もちろん個人の節電対策は必須ですが。(50代 女性)
- 国連議長が先日、もはや地球温暖化と言うよりも現在は地球沸騰！だ。と言っていた。連日40° C近くの気温を考えるとまさに地球沸騰化の表現が相応しい。CO<sub>2</sub>削減は待ったなしの問題だ。国、県、市、個人がもっと真剣に意識して取り組む問題だと思う。市にはCO<sub>2</sub>削減の為にゴミ細分化がもっとできるように、リサイクルステーションの設置などを試験的にでも開設してはいかがでしょうか。(50代 女性)
- 昨今の猛暑や突然の豪雨は以前にはなかったことであり、人災であることや、今何もしなければ今の若者たちの将来にはもっと生活しづらい気候になることを、しっかり学んでもらい、今自分達は何をしなければならぬのかを真剣に考えなければいけないと思います。公害が起こって初めて後悔や反省をしたことを肝に銘じ、自分たちの将来をまだ少しでもよくできるチャンスが残されているうちに、積極的に行動を起こせたらよいと思います。こういった大きな規模の話こそ、市がリーダーシップをとってくれるとありがたいと思います。(50代 女性)
- 日本に限らず、影響力のある人たち(得にyoutuber)が地球温暖化対策に関心をもって、SNSで発信してくれたら、今後の若い人たちにつながっていくのではないかと思います。(50代 女性)
- そもそも地球温暖化は地球の周期的なものと言う見解もあり、CO<sub>2</sub>の削減だけではどうにもならない事かもしれません。それでも少しでも良くしようと対策するのはとてもよいと思います。ほどほどなら。コロナの時のマスク警察の様に行き過ぎた行為に発展しないようにと懸念しております。(50代 女性)
- 一昔前の生活を改めて検証してみる必要があると思う。この時代に沿った対策が一番ですが、機械に依存するあまりに人間の本来の力を一人一人が見直すこと、出来ることに取り組む必要があると思います。共に生きていくのですから。(50代 女性)
- 私自身もそうですが、地球温暖化対策についての意識がそれほど高くない場合、何かの折に触れ、普段の生活の中でも対策のひとつになる、これだけの効果がある…というような参考事例があると意識しやすくなると思います。一人ひとりの意識を高めていかないと効果が得られない大きな課題だと感じています。(50代 女性)
- 市で行っている色々な施策や対策がわかりづらい。広報やホームページも普段から見ても無い。学校教育にしっかりと取り入れていくことが良いと思う。省エネなども頑張ってもお得感がない。ただ我慢するだけではやらないと思う。ゴミを減らす事も元々、過包装などでゴミの元が一緒になっている。国も企業も個人も全体で行わないと、温暖化で気温がどんどん高くなって、地球は生き物が生きられなくなるだろうなと思います。(50代 女性)
- みんな言葉は知っているが、具体的にどの様にしていっていいのか、わからないのだと思います。今の現状、それに伴うこれからの影響、そこで私達が今しなければならぬ事を具体的にわかりやすく表現出来れば、いろんな人に関心を持ってもらえると思います。私もきついですが、SNSで酷な現状を見ます。でも、それが現状なので受け止めて、そうしたら自ずと今何が必要で、しなければならぬかが、わかってくると思っています。現状から目を背けないのが大事です！(50代 女性)
- 地球温暖化対策は特に必要ないと思います。(60代 男性)

- 朝霞市には大きな公園があり、緑を守ることに行政も、支援と保全、拡充をお願いしたい。(60代 男性)
- 温暖化対策は地球規模で考える必要があると思いますが、国連常任理事国が侵略戦争を起こし、女性や子どもたち、非戦闘員を多数殺害してなんとも思わない。この国に同調する国が多数ある現状に鑑みて、日本のみが地球温暖化対策を真剣に取り組んでも無駄だと思います。(60代 男性)
- 企業や行政任せではなく、結局は住民一人ひとりの取り組みが大切であると思います。行政の役割は、その住民の取組を啓発したり、支援したりするものであるべきではないでしょうか。(60代 男性)
- 地球温暖化対策として自家用車の使用を減らすため市内循環バスの本数や経路の拡充等も必要だと思います。例えば西原から黒目川をこえ中央公園に行くのが非常に面倒くさい。黒目川で朝霞市が二つに分断されている。気持ちのうえでも分断されていると思います。地球温暖化対策を兼ねて検討が必要。(60代 男性)
- 温暖化対策は国民の総意で行われるべきです。国、都道府県、市町村、そして住人全員参加が望ましいです。安易なポイント還元などなどコテ先手段は選ばず、先の見通しがつき、持続可能な手段をベースにみんなが参加し易い方法を実践して行きたいですね。(60代 男性)
- 誤解されるような知識が広まりすぎているところがあると感じている。例えば、日本化学会の菅会長のコメントをご存知ですか。下記のサイトに書かれているようなことをきちんと理解してほしい。 <https://www.chemistry.or.jp/journal/ci22p667-tanso.pdf> そろそろ「脱炭素」の用語を使うのはやめてほしい。また、新座市では「ゼロカーボン」の標語が色々なところに掲示されていますが、「脱炭素」以上に誤解されやすい用語です。私たちの体をはじめ、ほとんどの物質は「炭素カーボン」でできています。水素エネルギーといっても、それを合成する際、二酸化炭素が発生することは、化学(科学)を学んでいれば誰でもわかるはずなのですが、理解されているとは言い難い。水素を使用する際には二酸化炭素が発生しませんが、水素を作るとき二酸化炭素が発生するのは明らかです。二酸化炭素を化学式で「CO<sub>2</sub>」と書いたとき、「2」を下付きの数字にしないままのことがあまりに多く見られます。「2」が下付きの数字であることは、中高の教科書にきちんと書かれてあります。つい最近まで、新座市のホームページでは「Co<sub>2</sub>」とありました。あまりに恥ずかしい誤りなので指摘して、修正して頂きました。「ゼロエネルギー住宅」とありますが、エネルギーがゼロであることは、絶対にあり得ません。誤解を生じる表現ではないでしょうか。太陽光パネルを作るには、多量の電気を使用しているはずで、電気を使用するということは二酸化炭素が発生しているという意味です。だから高価なのです。電気自動車や電動バイクで使用する電気を生み出す際には、多量の二酸化炭素を発生させています。もっと電気を使うことが本当に良いのでしょうか。電気を使用することを、本当に推奨して良いのでしょうか。二酸化炭素を発生させるけれども、〇〇のような利点があるので推奨している、というような議論をしてほしい。何事にもメリットとデメリットがあるものです。両面を議論することで正しい判断ができるものと思っています。(60代 男性)
- 金銭的な補助はもとより 教育現場、職場等で温暖化対策へのレクチャーや個人意識のレベルアップにつながる働きかけをして欲しい。(60代 男性)
- 今年の夏にみるように世界中が異常になっている。何とかしなければいけないのは皆わかっていると思うが、まだまだ一人一人の意識が足りない。朝霞も一人一人にわかるように、情報を発信してほしいと思う。(60代 女性)

- 我が家でも太陽光発電システムを設置した時に、県・市から補助をしていただいたのでとても助かりました。最近省エネのエアコンを購入した時、より出力が高く、省エネであるエアコンでなければ補助してもらえず、少し残念でした。省エネ家電はやはり高価なものが多いので、価格に合わせて少しでも補助していただくと助かると思います。ただでさえ物価高ですから。(60代 女性)
- 今年の夏の暑さを考えると、費用はかかることもあるが、市としてやれること、やらなければならないことは、早急に実行してほしい。水害や農作物の被害を考えて実行してほしい。東京23区もかなり木々が減ってきていると思うが、朝霞に比べて意外にあるのではと思った。街開発、農業もすべて中途半端な感があるので、地球温暖化対策に関しては、日本一と言われるぐらい取り組んで頂きたい。(60代 女性)
- 朝霞の花火大会をやめてドローンショーにしてほしい。花火のごみの削減になる。(60代 女性)
- 地球温暖化については何となくわかっているつもりになっていますが、市民として何をすることが大切なのか等、具体的にはわかりにくいのが現状だと思います。小学生からの教育の中に、大切なこととして、学習していくことにより、理解が深まり、具体的に何をすることが必要かがわかると思います。個人でできる効果の大きなものは、タイミングとお金が必要になってくるので、いつでもできることではないと思う。(60代 女性)
- 省エネについてまた、リサイクルについて、住宅の改修など知って活用できると良いと思います。(60代 女性)
- SDGsにも掲げられているように、地球温暖化は深刻な問題の一つです。朝霞市のご指導、ご支援で市民ひとりひとりが取り組むべきことを明確にし、企業様には、省エネルギーの努力への前向きな姿勢も大きな力になると思います。また、学校でも生徒さんに地球温暖化で引き起こされる近い未来の問題そしてお子様たちが出来る事、何をしていく必要があるかを認識していくご指導も大切だと思います。広報あさかに、具体的に学校で生徒さん、市民の皆様、企業様が取り組まれていることを記事に取り上げてもらえると、地球温暖化の対策がはっきりとわかり、朝霞市の魅力的な取り組みのひとつになると思います。(60代 女性)
- 意識して必ず取り組むべき問題だと認識しております。ゴミの分別、リサイクルなどまずは個人レベルで取り組めることから取り組んで欲しい。効果的だと思うのは小学生、中学生などの子どもに対してしっかりとした習慣づけと意識付けの為の教育に取り組み、家庭内で子供が率先してゴミやリサイクルに取り組んでもらう地域になったら素晴らしいと思います。(60代 女性)
- 気候変動とは百年千年単位での長い歴史の中で起きる事象だと思っていましたが、自分が生きている間に、これほどまでの変動があるとは子ども時代には想像もしていませんでした。自分も子どものころから節約のための節水や節電という言葉は知っていましたが、地球環境に関わる理解度は少なかったと思います。現在の子供たちへの教育は全く違うと思いますが、自分を含め、あまり考えずに大人になった市民も多いと思いますので、普及啓発のため広報の役割は重要だと感じます。(60代 女性)
- 平素歩いている歩道などに、もっと樹木を植えて、緑と木陰を増やしたらいいと思います。(60代 女性)

- 「温暖化対策」と、耳にすることは多いのですが、具体的に何をどのくらい対策したら、これくらい貢献したと具体的に数値でわかると子どもから大人まで楽しみながらできると思います。(60代 女性)
- 世の中に関連情報が多過ぎて、温暖化による影響の実態や、効果的な施策が見えない。一般消費者への啓蒙や家庭での地道な努力も大切だが、優先的にもっと規模の大きな事業単位での排出改善対策をすべきではないかと感じている。(60代 女性)
- 1. 個人では、電気、ガス等生活費の値上げもあり、ある程度の省エネは習慣的になっていると思う。また、スーパーも経費に直接影響するため、ショーケース内の消灯を行うなど意識が高い。ただ鉄道(駅構内)が、昼間も電気を消すことなく煌々と暑苦しいくらいに点灯している状況を見ると「これで何軒分の電気が賄えるのだろう」と、呆れてしまう。非常に残念だ。大企業ほど熱心に取り組むべきだと思う。2. TV番組により、生ゴミの処理に相当な費用が必要だと知った。何気なく水切りはしていたが今後は、もっとキッチンとする必要があると感じた。また、できるだけ再利用できるゴミに分別するよう心掛けるようになった。(60代 女性)
- 地球温暖化が進む中、個人住宅に太陽光発電導入を義務付け、その費用に対し補助金を出すことを行ってほしい。(70歳以上 男性)
- 植樹のすすめ(70歳以上 男性)
- ソーラーパネルの置いている広い土地も、農地として使えないのか。すごくもったいないと思います。建物の上に作るのはいいが、畑をつぶすのはだめだとニュースをみて思う。温室効果も自給自足も。(70歳以上 男性)
- CO<sub>2</sub>の排出源の特定を急ぐこと。CO<sub>2</sub>の本場東京からの排出は、全体の10%以下。海洋分が90%(推定)・本当の循環社会になるようなシステムの構築。・海岸地域での海草養殖による植物性プランクトンの増加。海洋汚染防止、海洋表面浮遊プラによる、植物性プランクトンの光合成減少防止。砂漠の緑化等、10%と少なくとも河川から海への養分補給につとめる。冷蔵庫裏に換気扇をつけ、熱気を外へ放出することへの補助も出すと良い。(70歳以上 男性)
- 地球温暖化対策は、市政レベルの対応は、ミクロの対応で、国レベルのマクロな対応がなければ良い方向にいかない。小さいことからコツコツと、という考えもあるが、近年の異常気象の多発、地域規模の平均気温上昇と、根本原因からの修正を行わないと手遅れになり、次の世代に大きなつけをまわすことになる。先進国対発展途上国という、温暖化対策への取組や、その必要性の認識の違いを解消しないと、ミクロの対策は自己満足でしかない。(70歳以上 男性)
- 非常に難しい問題だと思う。大国の大統領でも地球温暖化を認めない人がいるなど、各国の事情が違うからである。ただ、温暖化の影響は全世界に及んでいる。しかも、発展途上国への影響が大きい。彼らの温暖化への寄与や対策は小さく、大国の責任が大きい。日本では個人の取組は進んでいるが、企業や国は非常に遅れており、憂慮している。ヨーロッパで進んでいる車や飛行機から、鉄道を利用するなどが必要ではないか。ただ、鉄道をどんどん減らしながら、車がほとんど走らない道路に、鉄道の10倍もの予算を付けている国に失望している。(70歳以上 男性)
- 今ではなく、何年後、何十年後に振り返ったとき改めて実感できる、それが政治であり、施策でしょう。目先のことを着実に…それが振り返ったときに、大きな努力、結果として証明されると思っています。(70歳以上 男性)

- 今回のアンケートは少々無理があるのでは。市民が温暖化の危険性を理解していないのでは。本の紹介等、市民が現状のまま進んでは大変なることを理解することが大切。ヨーロッパに比べて国の取組が弱い。太陽光をはじめ、風力、水力等の再生可能エネルギーに投資する。危険な原発、石炭、火力発電をやめる。軍事費にお金を使うのは、環境破壊そのものです。市民に対する教育（学校のみでなく、一般市民にも繰り返し教育。長い目でみて市民が理解するように）。原発の廃止はドイツが進んでいる。使用済みの核燃料の処分はどのようにするか。危険なプルトニウムも50t近くたまっている。（70歳以上 男性）
- 日頃から特に関心のある環境問題ではないが、最近の気候変動・異常現象は、20年後の地球上では何が起きるのか想像を超えるものがある。小さなことでもOK！明日とは言わず、今から自分で出来る環境の良好な保全に向けて参加したい。（70歳以上 男性）
- 地球が危険状態にあります。温室効果ガス削減に向けた対策に沿い、個人的に協力したいと思います。（70歳以上 男性）
- 短期間で効果が上がり、成果が認められるとは考えられないので、環境教育の充実で意識の改革を図るとともに、個人や自治体でできることを広報し、実施し続ける息の永い取組を行うべきだと思います。（70歳以上 男性）
- 信号機のLED化も効果があると思います。ディーゼル、ガソリン車の比率を減らし、電気他エネルギー車の率を上げる対策をとる。（70歳以上 男性）
- 地球温暖化は世界の全ての国々が一致して取り組まない限り止まらない。あらゆる国々が自国の利益優先で取組がバラバラでは絶対に温暖化は止まらない。個人の細かい努力で止められる温暖化は微々たるもので温暖化の波は止められない。人間の性(さが)であり多分崩壊するまで温暖化は進むだろう。私は諦めている。それ以外にも、地球誕生から地球は一定期間で寒冷化と温暖化を繰り返しており人間の活動に関係なく、温暖化の時期に差し掛かっているのかもしれない。（70歳以上 男性）
- 地球温暖化対策は国の施策が最も重要であることは間違いないが、我々一人一人が、省エネ、創エネに日々注力することも重要だと思う。補助金によるプロモートも重要ではあるが、資金を有する人に限定されるため、家庭でできる地球温暖化防止対策を作成し、プロモートしたらどうか（例 八街市の対策計画）。また、CO<sub>2</sub>の排出量の経時変化を開示し、活動の推進を図るべき。（70歳以上 男性）
- 1. 国を始め、行政としては、地球環境に及ぼす影響等、大局的な姿を提示して欲しい。また、そのための施策、市民レベルでの具体的な行動指針を呼びかけること。2. 市民一人、ひとりが関心を寄せ、日常での行動を促すように、効果的な方法、内容で、周知、徹底を図って欲しい。（70歳以上 男性）
- 地球温暖化の危機的状況を踏まえ国が積極的に国民・事業者にはたらきかけるべきである。日本から先進国への発信も重要と思う。（70歳以上 男性）
- 具体的な温暖化対策のうちなんでも良いが、1 点に絞り朝霞市全体が集中的に取り組み、全国平均に比べ突出して成果をあげ市民が自慢できる成功事例を作りあげることが、市民の意識をあげる早道かと思う。（70歳以上 男性）
- ひとりひとりの日々の心掛けが大切かと思います。例えば食品ロスをなくす。古くなったTシャツなどを小さく切って、食品やフライパン、なべなどの汚れをふく。節水にもなるし下水の汚れを少しでも軽減できるかと。ささやかですが。（70歳以上 女性）

- 地球温暖化対策は、かなり以前から取組をしなければと、対策を進められていたと思いますが、この一年、現実には生活環境が変化しています。個人でもできることから、活動していきたいと考えています。温暖化の説明会や学習、教育も、拡充していかなければならないと感じています。(70歳以上 女性)
- 高齢者の常用薬の購入受取までの流れのデジタル化により、簡略化を推進して頂きたいです。現況、足が不自由な母は、タクシーにて病院(市内)に出向き、受付け、タクシーは一人で乗車利用します(処方箋を出して頂き支払い後、薬局に受取り、支払い、その後タクシーにて帰宅)。また、家族が同行する場合も往復のCO<sub>2</sub>が発生します。タクシー代の補助よりもデジタル化の方が、有効ではないでしょうか。(70歳以上 女性)
- 約33年前頃から地球温暖化について、化石燃料消費によるCO<sub>2</sub>排出や森林伐採など、土地利用の変化、いずれも人為的諸活動によるもので、地球規模の問題。この時点で地表の平均気温が上昇し、洪水、干ばつ、森林火災の増加、海面上昇による国土消失等が懸念されていましたが、今年現実のものとなりました。地球温暖化防止については、京都議定書が1997年に議決され、2005年発効されています。今一度、それをトレースし、地球上の国々がその対策をとり、地球上の一人一人が地球環境について学び知ること、関心を持つことが、その対策の一歩となると思う。(70歳以上 女性)

## ○市政モニターについて

### 問1 質問数は適切ですか。

回答内容	人数	割合 (%)
多い	14	4.7
やや多い	21	7.0
ちょうどいい	240	80.5
やや少ない	13	4.4
少ない	1	0.3
無回答	9	3.0

### 問2 質問項目は適切ですか。

回答内容	人数	割合 (%)
適切	203	68.1
やや適切	41	13.8
どちらでもない	39	13.1
やや不適切	5	1.7
不適切	1	0.3
無回答	9	3.0

### 問3 質問の表現は趣旨が分かる適切な表現となっていますか。

回答内容	人数	割合 (%)
分かりやすい	192	64.4
やや分かりやすい	37	12.4
普通	46	15.4
やや分かりづらい	13	4.4
分かりづらい	1	0.3
無回答	9	3.0

### 問4 質問の回答はしやすいものとなっていますか。

回答内容	人数	割合 (%)
回答しやすい	200	67.1
やや回答しやすい	34	11.4
普通	39	13.1
やや回答しづらい	14	4.7
回答しづらい	1	0.3
無回答	10	3.4

問5 今回のアンケートについて、レイアウト・構成・回答のしやすさなど御意見がありましたら、御記入ください。

- 回答によって次に回答する質問がすぐわかるようになって答えやすいと感じました。ありがとうございます。(20代 女性)
- 集中豪雨対策として、道路の雨水の整備の実施、排水路が汚泥で詰まっています。(30代 男性)
- 各設問の「その他」の自由記入欄も本回答欄のような造りにしてほしい。一行に長々と書くと回答の全体が読めず、まとめにくいので。(30代 男性)
- 問15の回答の選択肢にあった単語で聞き馴染みがないものがあったので、単語の説明が欲しかった。(30代 女性)
- ちょうどいい内容、質問項目数で回答しやすかった。(30代 女性)
- 以前に比べてかなりわかりやすくなりました。(30代 女性)
- 答えにより問いが分かれる際、自動で問いに飛ぶようになってとても使いやすくなりました。(30代 女性)
- 特に気になる点はありませんでした。いつもお気遣いありがとうございます。(30代 女性)
- いつもお世話になっております。回答はしやすく、問題は無いように感じました。(40代 男性)
- 選択型の質問の回答選択肢が2つまで、等、少ない気がしました。制限は必要でしょうか？(40代 男性)
- いつもご苦労さまです。(40代 男性)(50代 女性)
- 今回はいいと思う。(40代 女性)
- 文字が大きくて見やすかったです。(40代 女性)
- 以前に比べて大変記入しやすくなりました。(40代 女性)
- 質問の前に、現在の取り組みや制度の説明があり、知識不足の内容にも回答しやすかったです。(40代 女性)
- 日頃あまり考えていないテーマなので、選択するのがむずかしかった。むしろ自分の無知さを知った。(40代 女性)
- 個人的には簡便で回答しやすいと感じました。ただ、メールにこちらの回答フォームのURLが貼り付けてあれば、より回答しやすかったかなと思います。フィルターで引っかかってしまうかもしれませんが。(40代 女性)
- 次の中から2つ以内や、3つ以内と書いてあってもそれ以上選択出来てしまう。出来ないようにしてあると親切。(40代 女性)
- その他の選択の下のコメント欄がもう少し大きい方が入力しやすいです。(40代 女性)

- 地球温暖化についてこんなピンポイントの人に聞いても意味がないと思う。まずは自治体が国に働きかけて、国に何かやらせてはどうか。(40代 女性)
- 今までよりもずっと入力しやすかった。(40代 女性)
- 質問項目は適切ですか?の回答の中で、二番目の回答が2.やや適札になっていました。(40代 女性)(40代 男性)
- 以前のアンケートよりも、スマートフォンでも入力しやすいレイアウト、質問の文字の大きさになったと思います。ただ、回答欄の文字が小さいので、人によっては自身の入力文字が確認しづらくミスタイプが生じやすくなってしまっているのではないかと懸念しています。昨年、目の手術前までは、見づらかったです。市民が入力回答する欄もフォントを大きく表示、またフォントの色もグレーは薄くて見づらいのでハッキリ見やすい黒色、太字の方が誰にとっても見やすいユニバーサル表記なのではないかと思います。これからの時代、ウェブアクセシビリティが問われてくるかと思っていますので、ご考慮頂けましたらありがたいです。(40代 女性)
- 地球温暖化対策に関して、市が市民に求めている事がもう少し具体的にわかると、協力もしやすいし、アンケートの回答もしやすいのではと思いました。『家庭用太陽電池をもう少し増やしたい』『特にゴミを減らしてもらいたい』『分別をもう少し頑張ってもらいたい』などがわかれば『ではこんな方法はどうか?』と考えやすくなると思います。以前、『たくさん書き込んだのに一度戻ったら消えてしまった』という事を書いたのですが【入力中のデータを一時保存】の機能をつけて頂きありがとうございます!!(40代 女性)
- 関連する制度の利用実態などをグラフで示してもらえると、イメージしやすく、利用率ひとつとっても、どれだけ利用されているのがすぐ分かります。そのほうが、なぜ利用率が高いのか?低いのか?を考えるきっかけになると思います。作り手の方は大変だと思いますが、ご一考ください。(50代 男性)
- まず、「質問項目は適切ですか。」の2が「やや敵札」となっている。昨年までの回答方式よりも、ずっと進歩しており、回答がしやすい→保存ができるようになった。質問数が少ない。質問数を増やせば、もっと突っ込んで聞くことが出来たのではないかと思う。(50代 男性)
- 質問内容もわかりやすく、回答もしやすく、感心するような内容のアンケートだと感じました。(50代 男性)
- 直感的に設問が進みストレスフリーでした。(50代 男性)
- 以前のアンケートより、ずいぶん操作しやすくなったと思います。(50代 男性)
- 今回は良かったと思う。(50代 男性)
- アンケートの自由記載の部分で、改行等をするとう完了してしまうので、改善をお願いします。(50代 男性)
- フォームが変わって選択しやすくなった。レイアウトも適切だと思う。(50代 男性)
- 専門的な用語が多く、その内容の説明がほしかった。(50代 女性)
- 省エネ策は戸建の持ち家に対するものが多かったのですが、賃貸や集合住宅に対しても出来る施策があればよいと思いました。(60代 男性)

- 1. 「温室効果ガス削減に向けた地球温暖化対策について」…誤植ですか。「温室効果ガス」は、「地球温暖化（広くは「気候変動」）の要因のひとつです。「温室効果ガス削減」をテーマにしたいのであれば、「地球温暖化対策としての温室効果ガス削減について」、「地球温暖化」に着目したいのであれば、「温室効果ガス削減をはじめとする地球温暖化対策について」、となります。テーマで「原因と結果」「対策と目的」が混同されているため、設問が迷走しているようです。2. 「地球温暖化（気候変動）」は、「不都合な真実」が公開された時に比べ、猛暑やゲリラ豪雨として広く一般に認識されているものと思います。「エネルギー起源二酸化炭素」削減のために節電に努めなければならないことは分かっていますが、体温に近い気温の下ではエアコンを使わざるを得ない、という切羽つまったところにきています。アンケートの設問から市の切迫感が伝わってきません。3. 設問を通じて、「実施主体は市民、市は市民を啓発し市民の行動を助力する立場にある」という姿勢がうかがわれます。アンケートは、市が市民の意識を把握するほか、アンケートを通じて市民が市の姿勢を知る、という効果があります。例えば「非エネルギー起源二酸化炭素」として「廃棄物の焼却から発生する二酸化炭素」があります。市民レベルでは、「廃棄物の抑制・リサイクル・リユース」という行動になります。一方、二酸化炭素の発生源である清掃工場での対策は、市でしかできないことです。実施主体としての「市」の本気度が伝わらないと、「市民の共感、行動へ誘因」は期待できないのではないのでしょうか。今回のアンケートのテーマを見た瞬間、回答はパスしようかと思いました。この項目だけお伝えしたく、アンケートのほとんどはNAとしています。集計から除外してください。（60代 男性）
- 何か、ピントが合っていないように思います。（60代 男性）
- 第1回の市政モニターのアンケートで「温暖化対策」はテーマが大きすぎて漠然としすぎる感があります。太陽光発電パネルやリチウムイオン電池を作るのに多量の電気を必要としており、また太陽光パネルの廃棄にも関連してくると思われまます。温暖化対策で、上記のアンケートは何処にでもある一般的なアンケート内容で地域に即していません。国際情勢も絡み直ぐ温暖化対策をしようというテーマにする事は無いと思います。朝霞市民として、地域に即したアンケートにすべきです（市政モニターなのですから）例：1.黒目川沿いの活用 2.彩夏祭のアイディア 3.公民館の活用 4.市役所の課の対応、レイアウト 5.市の広報の方法 6.図書館、リサイクルプラザ、体育館などの公共施設に対するアンケート 7.その他、アンケート内容を募集（60代 男性）
- 最後の質問項目内、「質問項目は適切ですか。」の「2.やや敵札」はどういう意味ですか。先にも記しましたが、「CO2」の「2」は下付きの数字とすべきです。さらに言えば、化学式「CO<sub>2</sub>」と物質名「二酸化炭素」の両方の表現が含まれています。一つのアンケートなのであれば、どちらか一方で記す方が望ましいのではないのでしょうか。そうすることで、全体の統一感が生まれるものです。「ポイント付与など」という記述がありました。たとえどのようなことであつたとしても、タダでできるものではありません。ポイントの原資が何かを明らかにすべきではないのでしょうか。（60代 男性）
- 問14のように回答する際に、情報提供があるのは答えを書きやすいし、知らなかった情報についても知ることができるので、とても良いと思います。（60代 女性）
- 前回のアンケートは、質問が多く、同じような質問・意見をかくのがとても大変でした。今回は質問の量、質問の内容がわかりやすく、とてもよかったです。（60代 女性）
- 問題5は、1つに絞るのは難しかったです。（60代 女性）
- 関係のない設問は、飛ばされていて回答しやすくなりました。（60代 女性）

- アンケートの質問に取り組みながらも、朝霞市が努力されていること、また、地球温暖化の対策も知ることができ素晴らしいアンケートの構成でした。各質問に答えることも、スムーズにできました。ありがとうございました。(60代 女性)
- 知らない単語についての説明があり、自分で調べる手間がなくて良いと思います。(60代 女性)
- 去年のアンケートより、見やすくなりよくなっている。(70歳以上 男性)
- よかったと思います。(70歳以上 男性)
- 今回もアンケートは回答しやすかったのですが、温暖化についてもう少し掘り下げた質問もほしかったです。(70歳以上 女性)
- 今回のテーマ『温室効果ガス削減に向けた地球温暖化対策について』は30年以上前から重大な問題であったにも拘わらず、その対策は真剣に取り組むことなく放置された結果、地球温暖化による気候変動は年々加速し、もはや個人レベルの対策では、手に負えるものではありません。テーマとしては難しいと思いました。(70歳以上 女性)